項目		観察研究
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	乳癌、甲状腺癌を対象としたオルガノイドライブラリーの作成および新規治療法開発
	研究対象者	神奈川県立がんセンター及び下記の共同研究機関で、治療および診断目的で外科切除または針生検施行時に採取された Metaplastic carcinoma、甲状腺未分化癌などの難治・稀少癌を含む乳癌、甲状腺癌と診断された方。
	研究目的	本試験は、診断や治療の目的で採取されたがんの一部から「患者由来オルガノイド」を作成し、それを用いた解析を行うことで、１人１人のがんの特徴を捉えた治療標的を見つけ出し、個別化医療（プレシジョンメディシン）の発展に寄与することを目的とする。
	研究方法	外科切除または針生検検体採取された「がん組織」を用いて「患者由来オルガノイド」を樹立し、臨床情報と合わせてオルガノイドライブラリーとしてバンク化を行う。さらに、樹立された「患者由来オルガノイド」を用いて定量プロテオミクス解析や遺伝子解析、薬剤感受性試験を行うことで、各癌種に特徴的な分子を抽出し、難治、希少癌の新しい診断技術や治療法の開発に資する様々な研究を行う。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦２０１９年２月１４日～西暦２０２７年０３月３１日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [__] 西暦　　年　　月　　日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[X]試料:	[X]血漿、[X]血清、[X]全血、[X]末梢血から抽出した DNA、 [X]病理検体(具体的に記載：針生検検体、手術検体)、 [__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、 [__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:_____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X] 生年月日、[X]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む)、[X] ゲノムデータ、[__]看護記録、[__]その他(具体的に記載:____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	内分泌外科　部長　益戸　功彦
	共同研究機関および責任者	横浜市立大学附属病院　乳腺・甲状腺外科　菅沼　伸康 横浜市立大学附属市民総合医療センター　乳腺・甲状腺外科　松井　愛唯 長崎大学　原爆後障害医療研究所　光武　範吏 名古屋大学　環境医学研究所　荻　朋男
	その他の機関	なし
試料･情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター　内分泌外科　部長　益戸　功彦 045-520-2222（代表） 利用停止のお申し出は 2026 年 09 月 30 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります